

平成29年12月18日

保護者の皆様

札幌市立澄川南小学校
校長 綱 渕 友 也

平成29年度 全国学力・学習状況調査 本校の結果概要についてのお知らせ

寒冷の候、保護者の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に対しましてご理解ご協力いただいておりますことに感謝申し上げます。

さて、標記の全国学力・学習状況調査の本校における結果の概要がまとまりましたので、お知らせいたします。

すでに、この結果を踏まえて、対象学年においては、児童一人一人の学力や学習状況を把握し、よりきめ細かな教育指導や学習状況の改善等に向けて取り組んでいるところです。

この結果につきましては、本校ホームページ(<http://www.sumikawaminami-e.sapporo-c.ed.jp/>)にも掲載しております。また、「平成29年度全国学力・学習状況調査 札幌市の調査結果の概要」につきましては、札幌市教育委員会ホームページ(<http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/>)にて公表されておりますので、併せてご覧ください。

どうぞ、これからも児童の健やかな育ちを願い、よりよい取組を展開してまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、ご不明な点がございましたらご遠慮なく学校（教頭 584-2115）までご連絡くださいますようお願いいたします。

●調査結果の分析について

下の表のように、国語、算数それぞれ四つの領域について、A「知識」とB「活用」に区分された問題に解答しました。

教科	国語				算数			
	話すこと 聞くこと	書く こと	読む こと	言語 事項	数と 計算	量と 測定	図形	数量 関係
区分	A 主として「知識」に関する問題							
	B 主として「活用」に関する問題							

また、各教科について、区分ごとに四つの領域それぞれの正答率を全国平均と比較し、以下の比較表に照らして表記しています。

基準	全国平均 +3.1ポイント以上	全国平均 +3.0ポイント以内	全国平均	全国平均 -3.0ポイント以内	全国平均 -3.1ポイント以下
表記	上回っている	ほぼ同程度である が上回っている	ほぼ同程度	ほぼ同程度である が下回っている	下回っている

この表は、全市共通の書式となっております。

【国語】

本校の概要

今回の調査における課題

改善の方向

【区分及び領域】

主として「知識」に関する問題（A）

「話すこと・聞くこと」

◆全国平均より上回っている。

「書くこと」

◆ほぼ同程度であるが、やや上回る。

「読むこと」

◆ほぼ同程度であるが、やや上回る。

「言語事項」

◆ほぼ同程度であるが、やや上回る。

主として「活用」に関する問題（B）

「話すこと・聞くこと」

◆ほぼ同程度であるが、やや上回る。

「書くこと」

◆全国平均より上回っている。

「読むこと」

◆全国平均より上回っている。

●学年別漢字配当表に示されている当該学年の前の学年までに配当されている漢字を正しく読んだり書いたりすること。

●グループの話合いを通して見つけた俳句のよさとして適切なものを選ぶなど俳句の情景を捉えること。

●手紙の構成を理解して後付けを書くこと。

●目的や意図に応じて、話の構成や内容を工夫し、場に応じた適切な言葉遣いで自分の考えを話すこと。

●目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書くこと。

●自分の考えを広げたり深めたりするための発言の意図を捉えること。

○日常的に反復練習に取り組んだり、あらゆる活動の場において漢字を活用したりするなど、言葉や漢字に対する知識を定着するための言語活動を通じた指導の充実。

○国語の学習の中で俳句を取り扱う題材や、物語文の情景を表現する言葉を大切に示すなどの言語活動を大切にした指導の充実。

○総合的な学習の時間や校外学習、また、ゲストティーチャーとの学習を活用し、手紙の書き方の理解を深めていく指導の充実。

○報告する相手や目的に応じて、文章全体の内容や構成の効果を工夫し、適切な言葉遣いで話すことができるようにする指導の充実。

○目的や意図に合わせて、何が必要なのかを事前にメモしたり、順序を考えたりしてから書くことを意識付ける指導の充実。

○学び合いを大切に、相手の考えから自分の考えを広げたり深めたりすることができる指導の充実。

【算数】

本校の概要

今回の調査における課題

改善の方向

【区分及び領域】

主として「知識」に関する問題（A）

「数と計算」

- ◆ほぼ同程度であるが、やや上回る。

「量と測定」

- ◆全国平均より上回っている。

「図形」

- ◆全国平均より上回っている。

「数量関係」

- ◆ほぼ同程度であるが、やや下回る。

主として「活用」に関する問題（B）

「数と計算」

- ◆全国平均より上回っている。

「量と測定」

- ◆ほぼ同程度であるが、やや下回る。

「図形」

- ◆全国平均より上回っている。

「数量関係」

- ◆全国平均より上回っている。

- 加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができること。

- 資料から二次元表の合計欄に入る数を求めることができる。

- 直線の数とその間の数の関係に着目して、示された方法を問題場面に適用することができること。

- 飛び離れた数値を除いた場合の平均を求める式を判断することができる。

- 仮の平均を用いた考えを解釈し示された数値を規準とした場合の平均の求め方を記述することができること。

- 身近なものに置き換えた基準量と割合を基に、比較量を判断しその判断の理由を記述できること。

- 割合を比較するという目的に適したグラフを選ぶことができること。

- 加法と乗法の性質や計算のきまりを理解し、小数の計算ができるようにする指導の充実。

- 他教科でも資料を有効的に活用して資料を読み取ったり、作成したりできるようにする指導の充実。

- 学習したことを日常生活の中で活用できるような経験を増やしていく指導の充実。

- 平均の性質を理解し、予想したり、根拠を考えたりすることを大切にして、論理的に説明することができるようにする指導の充実。

- 日常生活の事象と式を関連付け、式の意味や数値の意味を解釈し、説明することができるようにする指導の充実。

- 他教科でも資料を有効的に活用して資料を読み取ったり、作成したりできるようにする指導の充実。

【児童質問紙】

今回の調査では、基本的な生活習慣や学習に対する関心・意欲、家庭での様子、社会に対する興味・関心、学習時間、学校での学習の様子などについて、85項目の質問内容がありました。

全国と比較して肯定的な回答の多かった項目や少なかった項目の中から、本校児童の特徴的な傾向についてお知らせいたします。

1 基本的な生活習慣

- 「朝食を毎日食べていますか」（肯定的な回答 95.7%）
- 「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」（肯定的な回答 76.6%）
- 「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」（肯定的な回答 87.3%）
→概ね基本的な生活習慣の確立はできていますが、睡眠時間が不規則な児童も20%程度いることや、「平日にテレビ・DVDを3時間以上見る」と回答した児童が、約3割、「平日にテレビゲーム（スマホを含む）を3時間以上する」と回答した児童が約1割いることから、学校での指導と併せて、各ご家庭でも「早寝・早起き・朝ご飯」をはじめとする、基本的な生活習慣の確立を実践していただきたいと考えます。

2 学習時間

- 「1日あたりどれくらいの時間勉強しますか（平日）」（1時間以上 72.3%）
- 「1日あたりどれくらいの時間勉強しますか（休日）」（1時間以上 66.0%）
- 「家で、自分で計画を立てて勉強していますか」（肯定的な回答 80.9%）
→宿題や家庭学習に取り組む児童が多く、自学自習の習慣が身に付いている児童が多いことが分かりました。平日・休日とも、1時間以上家庭で学習している児童の割合は全校の平均を超えています。ただ、2時間以上学習している割合はどちらも全国を下回っています。今後は進級に向けて、学習時間を増やしていくことが望まれます。

3 規範意識

- 「自分には、よいところがあると思いますか」（肯定的な回答 83.0%）
- 「学校のきまりを守っていますか」（肯定的な回答 100%）
- 「友達との約束を守っていますか」（肯定的な回答 97.9%）
- 「学校で友達に会うのは楽しいと思いますか」（肯定的な回答 100%）
- 「人が困っているときは、進んで助けていますか」（肯定的な回答 94.0%）
- 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」（肯定的な回答 97.9%）
- 「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」（肯定的な回答 91.4%）
→いずれも全国の割合を上回っています。高い規範意識と自己肯定感をもって生活できている傾向がうかがわれます。また、学校で友達との良好な人間関係を築くこともできているようです。ただ、少数ではありますが、いくつかの項目についても否定的に回答している児童がいることから、児童の自己肯定感や自己有用感を高めていく取組を進めていきます。

4 主体的な態度

- 「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか」（肯定的な回答 87.2%）
- 「友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか」（肯定的な回答 68.1%）
- 「友達と話し合うとき友達の考えを受け止めて自分の考えを持つことができますか」（肯定的な回答 92.0%）
- 「将来の夢や目標をもっていますか」（肯定的な回答 89.0%）
→何事にもチャレンジしながら、将来の目標に向かっていこうとする姿勢が見られます。また、友達の考えを受け止めながら自分を高めようという意識は高い半面、大勢の前で自分の考えを表現することに自信をもてない傾向もうかがえます。今後も授業や行事などを通して、一人一人に成功体験を多く積み、自信をもたせることができる取組を進めていきます。